

(2) インターネットでの留意点

① 管理者や統制する機関を持たない

プロバイダが自社のサーバに格納されたホームページを管理していますが、インターネット全体の管理者や統制する機関はありません。この点がパソコンネットと異なる点です。したがって、自分宛ての攻撃に対する対処や自分の行為についての責任は、自分自身が持つこととなります。

② ポストクラシーである

プロ野球オールスター戦の出場選手や歌番組でのベスト10等を決めるのは、全国民の投票ではなく、投票はがきを郵送した人達だけの多数決です。すなわち、ポストした人達だけの多数決という意味で「ポストクラシー」という用語が遣われます。

掲示板等でも同様、メッセージを送信した人達の意見だけが注目されます。したがって、自分と異なる意見が多数になるのが不満なら、メッセージ送信を躊躇してはいけません。もちろん、そんなことどうでも良いと思っている方は、無視してもよいでしょう。

③ プライバシーはない

インターネットにプライベートなことは一切ありません。したがって、自分自身や家族のプライベートなことを流さないようにしましょう。

例えば、自分が結婚したことを私的なホームページに掲載し、結婚式の写真を公開したために、妬まれて攻撃を受けた例があります。他人のひがみ根性を非難することはたやすいですが、他人を嫉妬させるのはやめましょう。もちろん、他人のプライバシーを流すのは失礼です。

④ 送信したメッセージは後で変更できない

普通の手紙を郵送する場合、書いた後、封筒に入れ、切手を貼り、